



TD-17 TD-17-L

DRUM SOUND MODULE

取扱説明書

日本語



简体中文

こんなことができます

演奏する

さまざまな音色で演奏する (⇒ P.8)

本機には、多彩なドラム音色が内蔵されています。 さま ざまな音色で演奏してみましょう。

さまざまな奏法に対応 (⇒ P.7)

本機はアコースティック・ドラム同様に、さまざまな奏法 に対応しています。

調節する

演奏感を調節する(⇒P.21)

センサーの感度を調節することで、お好みの演奏感に設 定することができます。

自分だけのキットを作る (⇒ P.14)

キットをカスタマイズすれば、世界に1つだけのオリジナル・キットを作りあげることができます。

環境にやさしい省電力

演奏や操作をやめてから一定時間経過すると、自動的に 電源が切れます(AUTO OFF 機能)。(→P.23) ※ 自動で電源を切りたくない場合は、AUTO OFF を「OFF」 に設定します。

練習する

クリック(メトロノーム)を鳴らす (→P.9) クリック音を鳴らして練習することができます。

曲に合わせて練習する (⇒ P.9)

本機には、練習に最適な曲が内蔵されています。曲に合わせて練習することができます。

練習している曲を録音する (⇒ P.10)

録音機能を使って、自分の演奏を確認することができ ます。

コーチ・モードで練習する (⇒ P.11)

本機には、練習を支援する機能「コーチ・モード」が搭 載されています。スピードのコントロール能力や、精度、 持久力を鍛えることができます。

スマートフォンの音声に合わせて演奏する (⇒P.5)

TD-17 には、Bluetooth 機能が搭載されています。お 使いのスマートフォンなどの音声に合わせて演奏すること ができます(**TD-17-L を除く**)。



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」(『安全上のご注意』チラシと取扱説明書(P.27))をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2018 ローランド株式会社

🚯 Bluetooth°

目次

準備する	3
接続する	3
スタンドに取り付ける	4
電源を入れる/切る	4
ハイハットの設定をする	4
Bluetooth [®] 機能を使う	5
モバイル機器を登録する(ペアリング)	. 5
ペアリング済みのモバイル機器を接続する	. 5
音楽を再生する	. 5
Bluetooth MIDI 機能を使う	. 5
トレー部にモバイル機器を置いて使う・・・・・	. 6
奏法について	7
	8
キットを選ぶ	8
全体の設定をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
電源を入れる/切る	8
ディスプレイの見かた	8
操作を決定する/値を変える	8
クリックを鳴らす	9
曲に合わせて演奏する/録音する	9
キットをカスタマイズする	9
コーチ・モードで練習する	9
全体の音質を調節する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
全体の音量を調節する	9
	10
演奏を録音する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
曲に合わせて演奏を録音する	10
パソコンに接続して録音する	10
USB でオーディオの送受信をする	
(USB ドライバーのインストール)	10
 練習する	11
コーチ・モードで練習する	11
練習メニューを選ぶ	11
ビートに合わせて正確に叩く(TIME CHECK)	11
身体でテンポを覚える(QUIET COUNT)	11
ウォーム・アップ (WARM UPS)	12
曲に合わせてクリックを再生する(ガイド・トラック)	13
内蔵曲に合わせてガイド・トラックを再生する。	13
曲に合わせてお好みのガイド・トラックを再	
生する	13

キットをカスタマイズする	14
設定するパッドを選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
インストを選ぶ(ASSIGN)	14
パッドごとの音量やパンを設定する (LEVEL)	14
オーディオ・ファイルを取り込む/鳴らす	
(USER SAMPLE)	15
ユーザー・サンプルを一覧表示する	15
オーディオ・ファイルを取り込む	15
ユーザー・サンプルをインストに割り当てる	
/鳴らす	16
ユーザー・サンプルの設定をする	16
チューニングやマフリングの設定をする	
(TUNING / MUFFLING)	17
その他の設定をする(OTHER)	17
キットをコピーする	18
キットをバックアップ/ロードする	19
	20
	20
設定の全本体に	21
パッドの種類を設定する	21
パッドの尾葉を調節する	21
SD カードにデータをバックアップする	21
SD カードにバックアップする	21
バックアップ・データを SD カードからロード	
する	22
バックアップ・データを SD カードから削除	
する	22
SD カードを初期化する	22
SD カードの使用状況を確認する	22
一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする	
(AUTO OFF)	23
工場出荷時の設定に戻す	24
トラブルシューティング	25
	27
(使用上のご注意	27
主な仕様	28



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

スタンドに取り付ける

付属の音源マウントを使って、本機をドラム・スタンドに取り付けます。

ドラム・スタンドのセッティングに応じて、音源マウントを お好みの向きに取り付けてください。



音源マウントの突起を 本機のレールに合わ せ、「カチッ」と音が するまでスライドさせ ます。

※本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみ などを保護してください。また、落下や転倒を引き起 こさないよう取り扱いに注意してください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

- 1. 接続した機器の音量を最小にします。
- 2. [0] (電源) ボタン押して、電源を入れます。 電源が入ります。
- 接続した機器の電源を入れ、音量を調節します。

電源を切る

- 1. 接続した機器の音量を最小にします。
- 2. 接続した機器の電源を切ります。
- **3.** [0] (電源) ボタンを1秒以上押します。 画面に [Shutting Down] と表示され、しばらくする

画面に「Shutting Down」と表示され、しはらくする と電源が切れます。



本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると 自動的に電源が切れます(AUTO OFF 機能)。 自動的に電源が切れないようにするには、AUTO OFF 機能を解除してください(P.23)。

ハイハットの設定をする

VハイハットVH-10またはVH-11(以下、「VH」と呼びます) を使うときは、本機でオフセットの調整をしてください。 オープン、クローズやペダルの動きを正しく検出するため に必要です。

- ハイハットがモーション・センサー・ユニット から完全に離れた状態で、本機の電源を入れ ます。
- VHのクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットをモーション・センサー・ユニットの上に自然に置いた状態にします。
- 3. [SETUP] ボタンを押します。
- ダイヤルで「Hi-Hat Settings」を選び、 [ENTER] ボタンを押します。
- ダイヤルを回して、Pad Type を「VH10」 または「VH11」に設定します。
- 本機の画面に表示されるメーターを見なが
 いHのオフセット調整ネジを回して調整します。

メーターに
・
・
が表示されるように調整します。



7. [DRUM KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻 ります。

参照

必要に応じて、パラメーターを微調整します。詳しくは 『データ・リスト』(PDF)をご覧ください。

Deutsch

Français

Bluetooth[®] 機能を使う

TD-17-L を除く

Bluetooth 機能を使うと、スマートフォンやタブレットな どのモバイル機器(以下、「モバイル機器」と呼びます) と本機が無線でつながり、以下のことができます。

Bluetooth オーディオ機能

モバイル機器で再生している音楽を、本機で鳴らしながら 演奏することができます。

MIDI データの送受信

Bluetooth MIDI 対応の音楽アプリ (GarageBand など) をモバイル機器にインストールして、本機と連携して使うこ とができます。

モバイル機器を登録する (ペアリング)

「ペアリング」とは、使いた いモバイル機器を本機に登 録する(お互いに認証する) ための手続きです。



モバイル機器で再生している音楽データを、ワイヤレ

スで本機から再生するための設定をします。

- 1. 接続したいモバイル機器を本機周辺に置きます。
- 2. [SETUP] ボタンを押します。
- ダイヤルで「Bluetooth」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

4. [F1] (PAIRING) ボタンを押します。

「Now Pairing…」と表示され、本機はモバイル機器からの応答を待ちます。

XE

ペアリングをやめる場合は、[F1](CANCEL)ボタン を押します。

モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に 表示されている「TD-17 AUDIO」をタップ します。

本機とモバイル機器がペアリングされます。ペアリン グが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた 機器」リストに「TD-17 AUDIO」が追加されます。 また、本機の画面に「Connected」と表示されます。

7. [DRUM KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻 ります。

ペアリング済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

XE

- 上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「TD-17 AUDIO」をタップしてください。
- 切断するときは、本機の Bluetooth 機能を「OFF」 (SETUP → Bluetooth → [F3] ボタン) にするか、 モバイル機器の Bluetooth 機能をオフにします。
- ・ 登録されたモバイル機器の情報を削除することができます(SETUP→Bluetooth→ [F2](SETUP)ボタン → [F1](RESET)ボタン)。

音楽を再生する

モバイル機器で音楽を再生すると、本機に接続したヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーから音が鳴ります。 Bluetooth オーディオの音量は、Audio In ([DRUM

KIT] ボタン → [F2] (MIX VOL) ボタン) またはモバ イル機器側で調節してください。

MIX VOLUME	
Audio In	-15.0dB MASTER
Click	0.0dB 🛛 😑 •
Song	-6.0dB 🚛 📰
Guide Track	-6.0dB
	-36 == -

XE

モバイル機器で再生した音楽は、本機の演奏音と一緒 に録音することができます(P.10)。

Bluetooth MIDI 機能を使う

本機とモバイル機器の間で MIDI データの送受信をする 設定をします。

モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

2. 音楽アプリの設定画面で「TD-17 MIDI」を 選び、接続します。

詳しくは、音楽アプリの取扱説明書をご覧ください。 ※ モバイル機器の Bluetooth 設定から「TD-17 MIDI」

※ モバイル機器の Bluetooth 設定から | ID-1 / MIDI] に接続すると、正しく動作しない場合があります。 Esp

Italiano

トレー部にモバイル機器を置いて使う

本機のトレー部に、付属のトレー・ホルダーを取り付ける ことで、モバイル機器を置いて使うことができます。



トレー・ホルダーは図のように取り付けます。



取り付けのポイント

- トレー・ホルダーと本機を十分に固定させるため、
 取り付け後1日経ってからモバイル機器を置いてく
 ださい。
- 厚みのあるモバイル機器をお使いの場合は、トレー・ ホルダーを浮かせて取り付けてください。



ご注意!

本機のトレー部とトレー・ホルダーは、モバイル機器な どの安定保持を保障するものではありません。本機の 取り付け角度などを調整し、十分に安定性を確認して からお使いください。落下等で破損や不具合が生じて も、当社は一切責任を負いません。

本機とモバイル機器との接続の状態

接続状態に応じて、Bluetooth インジケー ターの点灯状態が変わります。

Bluetooth インジケーター	説明
点滅	ペアリング中
数回点滅	接続中/切断中
点灯	Bluetooth オーディオ接続時
消灯	Bluetooth オーディオ未接続時

Bluetooth 機能を無効にする

本機とモバイル機器を Bluetooth 接続したくない 場合は、Bluetooth 機能を無効にします。

- 1. 本機と接続したモバイル機器の音量を最小にします。
- 2. [SETUP] ボタンを押します。

ダイヤルで「Bluetooth」を選び、 [ENTER] ボタンを押します。

4. [F3] ボタンを押してチェックをはずします。

※ Bluetooth 機能の有効/無効を切り替えるとき は、必ず本機と接続したモバイル機器の音量を 最小にしておいてください。

Bluetooth ID を設定する

Bluetooth 接続したアプリに表示される、本機のデ バイス名の末尾の数字を設定します。 同じ楽器を複数お持ちの場合に、識別することがで きるため便利です。

- 1. [SETUP] ボタンを押します。
- ダイヤルで「Bluetooth」を選び、 [ENTER] ボタンを押します。
- 3. [F2] (SETUP) ボタンを押します。
- 4. ダイヤルを回して、設定値を変えます。

設定値	説明

	「OFF」に設定: 「TD-17 AUDIO」、
OFF、	「TD-17 MIDI」(初期値)
1~99	「1」に設定: [TD-17 AUDIO 1]、
	[TD-17 MIDI 1]

5. [F3] (SAVE) ボタンを押します。

奏法について

本機は、アコースティック・ドラム同様、さまざまな奏法 に対応しています。

説明

パッド

奏法

ヘッド・ショット

ヘッド

ヘッド部を叩きます。

リム・ショット



ヘッド部とリム部を同時に叩きます。 ヘッド・ショット時とは異なる音色 (リム音色) が鳴ります。

クロス・スティック 奏法(スネアのみ) (P.8)





説明

奏法時にはリム音色、クロス・スティッ ク奏法時にはクロス・スティック音色 というように、各奏法に対応した音色 を鳴らし分けることができます。

※ 専用接続ケーブルの「SN」に接 続したパッドのみ有効です。

※ クロス・スティック奏法で演奏する ときは、ヘッドに手が触れないよ うにしてください。ヘッドに手が触 れると、クロス・スティック奏法が 確実にできない場合があります。

ハイハット

奏法



ハイハット・スタンドのペダルの踏 み込み具合により、オープンからク ローズまでハイハットの音色が連続 的に変化します。 フット・クローズ (ペダルを踏み込んで鳴らす)や フット・スプラッシュ(ペダルを踏 み込んで瞬時にオープンして鳴ら す)も可能です。

ボウ・ショット



トップ・ハイハットの打面を叩く 奏法です。ヘッド側の音色が鳴り ます。



※トップ・ハイハットの裏側やボトム・ハイハットは叩かな いでください。故障の原因になります。

説明

シンバル

奏法



シンバルの打面を叩く最も一 般的な奏法です。ヘッド側の 音色に対応します。

エッジ (シンバルの端) をス

ティックのショルダー部で叩く

奏法です。図のエッジ・セン

エッジ・ショット



ベル・ショット (ライドのみ)

チョーク奏法

エッジ・センサー



ローランド・ロゴ

サーの位置が叩かれたときに、 リム側の音色が鳴ります。 ベル部を叩く奏法です。図の ベル部が叩かれたときにベル の音色が鳴ります。 ベルを、スティックのショル ダーでやや強めに叩きます。

※ ライド・3 ウェイ・トリガー に対応したパッドをご使用 ください。

シンバルを叩いたあと、エッ ジ・センサーを手でチョークす る(つかむ)と、音が止まり ます。

チョーク状態で叩くと、音が短 くなります。

English

Π

調本

Español

Português

7

操作ガイド (各部の名称と働き)

キットを選ぶ	
本機では、さまざまな音で演奏を楽しむことができます。 1. [DRUM KIT] ボタンを押す。 2. ダイヤルを回してキットを選ぶ。 参照 キットについて、詳しくは『データ・リスト』(PDF) をご覧く ださい。	キットとインスト 本機では、各パッドを叩いた ときに鳴る音色を「インスト」 と呼びます。各パッドに割り 当てた音(インスト)のセット を「キット」と呼びます。
 全体の設定をする 本機全体の設定をします。 1. [SETUP] ボタンを押します。 2. ダイヤルでメニューを選び、[ENTER] ボタンを押す。 3. ファンクション・ボタン/ [A] [V] ボタン/ダイヤルで、 設定値を変更する。 	
電源を入れる/切る 電源をオン/オフします。 4ページ	
キット名、テンポ、現在有効な機能などが表示されます。 起動時の画面(KIT画面) パッドを叩いたときに受信するトリガー信号のレベルが、トリガー・メーターに表 示されます。 メエエ ノ=120 な エーデー・サンプル・アイコン:	
□	操作を決定する/値を変える 操作を決定する/ 次の画面に進む [ENTER] ボタンを押す。
クロス・スティック奏法を使う [F1] (XSTICK) ボタンを押すたびに、スネアのパッ ドでクロス・スティック音 (P.7) を鳴らす/鳴ら さないの切り替えができます。	操作をキャンセルする/ [EXIT] ボタンを押す。 前の画面に戻る ハーソルを上下に移動 する [A] [V] ボタンを押す。
各種音量を調節する 1. [F2] (MIX VOL) ボタンを押す。 2. [A] [V] ボタンとダイヤルで設定値を変更する	値を変える ダイヤルを回す。 [ENTER] ボタンを押しながら ダイヤルを押すと、値が高速に 変わります。
Audio In MIX IN 端子と Bluetooth で接続した機器の入力音量	ディスプレイ下部に表示 ファンクション・ボタンを押す。 されている機能を設定 F10 する F30
Click クリックの音量 Song 曲の音量 Guide Track ガイド・トラック (P.13)の音量	発音しているすべての [ENTER] ボタンを押しながら 音を止める [EXIT] ボタンを押す。 (オール・サウンド・オフ) 発音しているすべての音を止め る (消音する) ことができます。

操作ガイド(各部の名称と働き)

English

Italiano

Español

Português



简体中文

クリックを鳴らす		全体の音質を調節	行する
1. [CLICK] ボタンを押す。	,	残響音を調節する	[AMBIENCE] つまみを回す。
クリックをオン/オフする	[F3] ボタンを押す。	 低音を調節する	[BASS] つまみを回す。
	ダイヤルを回す。	 高音を調節する	[TREBLE] つまみを回す。
テンポを変更する	[SLOW] [FAST] ボタンを押す。	XE	
拍子を変更する	[F1] (MENU) ボタンを押す。 → [A] [V] ボタンで [Beat] を選び、ダイヤルを回す。	 AMBIENCE は、OT 節することができます BASS と TREBLE は、 のかけかたを調節する 	HER メニュー(P.17)で細かく調 っ。 SETUP メニュー(P.20)で効果
 ・ [ENTER] ボタンを押した クリックをオン/オフする ・ その他の設定については 覧ください。 	がら [CLICK] ボタンを押して、 こともできます。 、『データ・リスト』(PDF)をご	全体の音量を調節	にとめてとのり 記録の 記録の 記録の 記録の 記録の 記録の に の まみを 回す。
AMBIENCE BASS	TREBLE VOLUME キットな ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をカスタマイズする 計好みにカスタマイズする 、ト・エディット([ASSIGN	うことができます。] 、 [LEVEL] ボタンなど) のいず ;
	HALI CI C2 RD AXX LEVEL USER SAMPLE MUFFLING OTHER 更する	ボタンを押す。 9 SELECT] ボタンまたはパ クション・ボタン/ [A] [[・] 5。	パッドを叩いて、設定するパッドを選ば ✓] ボタン/ダイヤルで、設定値を 14ページ
DRUM SOUND MODULE TD-17	 ○ ○ ○ ○ □ - チ・ 持久力を 1. [COA 2. ファン 	モードで練習することで、フ 鍛えることができます。 ACH] ボタンを押す。 クション・ボタンを押して、	スピードのコントロール能力や、精 線習メニューを選ぶ。 11 ページ
曲に合わせて演奏す	る/録音する		
オーディオ・プレーヤー モバイル機器の曲に合わ 1. MIX IN 端子や Bluetoo ヤーを再生する。 2. [F2] (MIX VOL) ボタンジ	/)せて演奏する oth で接続したオーディオ・プレー を押して、曲の音量を調節する(P.8)。	録音する (P.10) 1. KIT 画面で、[●] ボタ 2. [►/■] ボタンを押し 3. [►/■] ボタンを押し 4 [F3] (EXPOPT) #	タンを押す。 て、録音を始める。 て停止する。 タンを押して、曲を保存する
曲に合わせて演奏する 1. [SONG] ボタンを押す	9	再生中の操作	
2. ダイヤルを回して曲を選	<i>ß</i> "。	[▶/■] ボタン	曲の再生/停止
 [F1] ボタンを押すた 	びに、内臓曲/SDカードのオー	[∧] [∨] ボタン	曲の早戻し [A] /早送り [V]
ディオ・ファイル(P.2 (エクスポートした録音	23) / SD カードに録音した曲 データ) (P.10) を切り替える	[SLOW] [FAST] ボタン	曲の再生スピード ループ再生/通常再生/ A-B リピート
ことができます。			(*1)を順番に切り替えます。
 [F3]ボタンを押して「C トラック (クロックギン・) 	GUIDE」にチェックを入れると、ガイド・ を喧らすことができます(P 1 2)	*1:A と B の区間を設定	し、繰り返し再生します。
トレック (クリック首) /	と	1. [ENTER] ボタンマ	を押して通常再生にし、曲を再生す
⇒. ビー =」 ハラノを押しし 余昭	۵0 ۴ ד ד	2. リピート開始位置	で[ENTER]ボタンを押す(A の設定
内蔵曲について、詳しくはださい。	『データ・リスト』(PDF)をご覧く	3. リピート終了位置	で [ENTER] ボタンを押す (B の設定

録音する

演奏を録音する

自分の演奏を簡単に録音して、再生することができます。

※ 録音した曲を SD カードに保存(エクスポート)する場合は、あらかじめ SD カードを挿入しておきます (P.3)。

XE

SD カード挿入時は最大 60 分、SD カード未挿入時は約 3 分、録音することができます。SD カード未挿入時は、 録音後に [F2] (PREVIEW) ボタンを押して再生できま すが、本機に保存できません。

録音する

1. [●] ボタンを押します。

REC STANDBY 画面が表示され、録音のスタンバイ 状態になります。

XŦ

REC STANDBY SD-REC#001 IP/DJ to Rec Start Target ALL SONG MIX VOL

クリックに合わせて録音したいときは、ここでクリックを鳴らします(P.9)。

2. ダイヤルを回して録音対象を選びます。

表示	説明
ALL	すべての音を録音します (クリックとガイド・トラックを除く)。
DRUMS	ドラムの音のみを録音します。

- 3. [▶/■] ボタンを押して、録音を始めます。
- 4. もう一度 [►/■] ボタンを押して、録音を終 了します。

再生/保存する

5. [F2] (PREVIEW) ボタンを押します。

録音した演奏が再生されます。 SD カードに曲を保存しないで終了する場合は、[F1] (DELETE) ボタン → [ENTER] ボタンを押して曲 を削除します。

 [F3] (EXPORT) ボタンを押して、曲を保存 します。

曲に合わせて演奏を録音する

本機の内蔵曲(オーディオ・データ)や SD カードに保存 した曲に合わせて、演奏を録音することができます。

XE

MIX IN 端子や Bluetooth で接続した機器の曲に合わ せて録音するときは、接続した機器の曲を再生しながら、 「録音する」の手順で録音します。

曲を選んで録音する

- 1. 曲を選びます (P.9)。
- I・I・ボタンを押します。
 REC STANDBY 画面が表示され、録音のスタンバイ 状態になります。
- 3. ダイヤルを回して録音対象を選びます。
- [F1] ボタンを押して、「SONG」にチェック を入れます。

REC STANDB)	(
SD-REC#001	
with TD-17	Song 1
re-/en to	Doc Start
	nec ocar c
Target	ALL
VISONG MIX	VOLT

- 5. [▶/■] ボタンを押して、録音を始めます。 録音の開始と同時に、曲が再生されます。
- もう一度 [►/■] ボタンを押して、録音を終 了します。

再生/保存する

7.録音した演奏を再生/保存します。

パソコンに接続して録音する

本機は、USB ケーブル(別売)でパソコンと接続するだ けで MIDI の送受信ができます。 MIDI を送受信するには、USB Driver Mode を [GENERIC] に設定します。

参照

USB Driver Mode について、詳しくは『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。

USB でオーディオの送受信をする (USB ドライバーのインストール)

USBドライバーは、パソコン上のソフトウェアと本機との 間でデータをやりとりするソフトウェアです。 USB AUDIO として音声を送受信するには、USBドライ バーのインストールが必要です。

1. USB ドライバーをインストールします。

2. 本機の USB Driver Mode を「VENDOR」 にします。

※本体の電源を入れ直すと有効になります。

3. 本機とパソコンを接続します (P.3)。

XE

USB ドライバーのダウンロードとインストール手順に ついて詳しくは、ローランドのホームページをご覧くだ さい。

https://www.roland.com/jp/support/

コーチ・モードで練習する

本機には、練習の効果を最大限に引き出すために用意さ れた、練習用モード「コーチ・モード」があります。 スピードのコントロール能力や、精度、持久力を鍛えると ともに、タイミングをうまくとる練習に適しています。 コーチ・モードには、調整できるパラメーターがいくつか 用意されているため、それぞれのレベルに応じた練習をす ることができます。

練習メニューを選ぶ

1. [COACH] ボタンを押します。

COACH MENU 画面が表示されます。

2. ファンクション・ボタンを押して、練習メニュー を選びます。

ビートに合わせて正確に叩く (TIME CHECK)

クリックに合わせて、正確にタイミングよく叩く練習をする ためのモードです。

- 1. COACH MENU 画面で、「F1」(TIME CHECK)ボタンを押します。
- 2. [F3] (START) ボタンを押して、開始します。

XE

練習を途中で終了するときは、[F1] (STOP) ボタン を押します。

クリックに合わせてパッドを叩きます。

叩いた割合が [%] で表示されます。



パッドを叩いたタイミングがクリックに合っているか どうかを、画面に表示します。 **BEHIND**: 遅い AHEAD: 早い

打撃タイミングが評価されます。

例)キックとスネアの場合



再び練習するときは、[F3] (RETRY) ボタンを押します。

4. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

TIME CHECK の設定		
TIME CHECK 画面で[F2] TIME CHECK MENU (MENU) ボタンを押すと、 Conce 評価するパッドや、採点する Ohl(Gm233) 小節数などを変更することが Conce できます。 Conce		
パラメーター	設定値	説明
	採点の結果を、画面に表示させるかどうかを 設定します。	
Score	OFF	採点しません。 タイミングのチェッ クだけをします。
Score	ON (4、8、 16、32 meas)	採点の結果を画面に表示します。 また、採点までの間に練習する小 節数を指定します。
	採点基準を	を設定します。
Grade	EASY	標準
+	HARD	より厳しくタイミングをチェックし ます。
Display 1 Display 2	画面にタイミング・グラフを表示するパッドを 選びます。	
Gauge	LEFT BEHIND	タイミング・グラフの左が BEHIND (遅い) で表示されます。
	LEFT AHEAD	タイミング・グラフの左がAHEAD (早い)で表示されます。

※ [F2] (CLICK) ボタンを押すと、クリックの設定 (P.9) をすることができます。

身体でテンポを覚える (QUIET COUNT)

身体でテンポを覚えるためのモードです。 最初の数小節は設定された音量でクリックが鳴りますが、 次の数小節はクリックは鳴りません。停止させるまで、こ の数小節間隔のサイクルが続きます。

- 1. COACH MENU 画面で、「F2」(QUIET COUNT) ボタンを押します。
- 2. [F3] (START) ボタンを押して開始します。
- クリックのテンポに合わせて、パッドを叩き ます。
 - 最初の数小節はクリッ クが鳴ります。クリッ クが発音する最後の 小節になると、画面に 「Ready..」と表示さ れます。



11

English

田本語

Deutsch

Français

Italianc

Español

Português

Nederlands

简存中文

練習する

- クリックが鳴り終わると、画面の表示が「Quiet」に変わります。この間もパッドを叩き続けます。
- Quietの区間のあと、 正確なテンポで叩いた 割合が「%」で表示さ れます。



4. [F1] (STOP) ボタンを押して、停止します。

5. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

QUIET COUNT の設定

QUIET COUNT画面で[F2] QUIET COUNT画面で[F2] QUIET COUNT画面で[F2] Measures (MENU) ボタンを押すと 設定画面が表示されます。



パラメーター	設定値	説明	
Measures	2、4、8、 16 (小節)	「クリック発音」と「Quiet」の 繰り返し区間の長さ(小節)を 設定します。	
	Measures で設定した小節のうち、Quiet にする小節の長さを設定します。		
Quiet	RANDOM	Quietの区間が毎回ランダム に設定されます。	
	1、2、4	設定した長さ(小節)が Quietの区間に設定されます。 ※ Measures で設定した値の 半分より大きい値を設定す ることはできません。	

※ [F2] (CLICK) ボタンを押すと、クリックの設定 (P.9) をすることができます。

ウォーム・アップ(WARM UPS)

このモードでは、ステップ1~3まで順番に練習し、各ス テップでの演奏を採点して、総合評価をします。 軽めの練習からハードな練習まで、3つのコース (5 / 10 / 15 分)から選べます。また、演奏の上達 度に合わせて、テンポの調節もできます。



WARM UPS をスター トさせたあとで [F3] (PAUSE) ボタンを押し て、一時停止または再開 させることができます。 また、一時停止中に [F1]



また、一時停止中に [F1] (STOP) ボタンを押して、 終了することもできます。

1. COACH MENU 画面(P.11)で、[F3] (WARM UPS)ボタンを押します。

2. [F3] (START) ボタンを押して、開始します。

ステップ1: Change-Up

このステップでは、リズム・ タイプが 2 小節ごとに変化 していきます。 2 分音符から始まって徐々

に音符が細かくなってい



き、また2分音符まで戻るというリズムの変化を繰り返します。

ステップ 2 : Auto Up/Down

テンポを徐々に上げ下げし ます。

テンポが1ずつ上がってい き、上限値になったらテン ポが1ずつ下がって最初の



テンポに戻ります。その後、同じ動作を繰り返します。

- ※ Auto Up/Down は、Duration が 10 MINS または 15 MINS のときに実行されます。
- ※ Auto Up/Down では、現在のテンポは変更できま せん。
- ※ 現在のテンポ設定値が、テンポ下限値になります。

ステップ 3:Time Check

このステップでは、クリック に合わせて正確にタイミン グよく叩く練習をします。 パッドを叩いたタイミングが 拍子に合っているか表示し ます。



総合評価

各ステップでの演奏を採点 し、総合評価を表示します。 再び練習するときは、[F3] (RETRY) ボタンを押し ます。



FYTE (表示)
 EXCELLENT!(最高)、VERY GOOD!(優秀)、
 GOOD (良)、AVERAGE (標準)、START
 OVER (やり直し)

3. [EXIT] ボタンを押して、終了します。

WARM UPS の設定

WARM UPS 画面で [F2] (MENU) ボタンを押すと 設定画面が表示されます。

• • • • • • •			
WARM UPS	MENU	J	
Duration Grade		1	EASY
Max Tempo			260

SETUP / CLICK

パラメーター	設定値	説明
	時間を選び	`ます。
		所要時間:5分
	5 MINS	Change-Up:2分
		Time Check:3分
		所要時間:10分
Duration		Change-Up:3分
Duration	10 10/11/05	Auto Up/Down:3分
		Time Check:4分
		所要時間:15分
		Change-Up:5分
	I J IVIII VJ	Auto Up/Down:5分
		Time Check:5分
	採点基準を設定します。	
Grade	EASY	標準
Grade	HARD	より厳しくタイミングをチェックし
		ます。
Max	ステップ 2:Auto Up/Down での、テンポ	
Tempo	の上限値を設定します。	

※ [F2] (CLICK) ボタンを押すと、クリックの設定 (P.9) をすることができます。

曲に合わせてクリックを再生する (ガイド・トラック)

曲に合わせてクリック音を再生することができます (ガイド・トラック)。

ガイド・トラックを使うには、ガイド・トラックのある内蔵 曲を再生します。オーディオ・ファイル(WAV ファイル) 形式の曲と、クリック音の入ったオーディオ・ファイルを用 意することで、曲に合わせたガイド・トラックを再生するこ とができます。

また、曲のオーディオ・ファイルをガイド・トラックの代わりにすれば、ステレオ2トラックで再生することもできます。

内蔵曲に合わせてガイド・トラックを 再生する

1. [SONG] ボタンを押します。

[F1] ボタンとダイヤルで、ガイド・トラック のある内蔵曲を選びます。



メトロノーム・アイコン (ガイド・トラックのある曲 を選んでいるときに表示)

3. [▶/■] ボタンを押します。

曲の再生と同時に、ガイド・トラックも再生されます。 必要に応じて、ガイド・トラックの音量を調節します (P.8)。

XE

- ガイド・トラックをミュートするときは、[F3] ボタン を押してチェックをはずします。
- 内蔵曲について、詳しくは『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

曲に合わせてお好みのガイド・トラックを再生する

お好みのガイド・トラックを再生したいときは、WAV ファイル形式の曲とクリック音の入ったオーディオ・ファイルを用意します。

※ MP3 ファイルには対応していません。

ガイド用オーディオ・ファイルを準備する 1. ガイド・トラックとして再生するオーディオ・ファ

イル(WAV ファイル)を用意します。

オーディオ・ファイルは、市販の DAW ソフトウェアな どで作成します。曲のテンポに合わせて、クリック音を録 音します。

2. パソコンで、手順1で用意したファイルのファ イル名を編集します。

ガイド・トラックとして再生するオーディオ・ファイルの ファイル名を、「曲のファイル名 +**_Click**」にします。 例)「TD-17.wav」の場合は、「TD-17_Click.wav」 にします。

3. 曲とクリックのオーディオ・ファイルを、SD カード のルート(一番上の階層)に保存します(P.23)。 例)の場合では、「TD-17.wav」と「TD-17_Click.

wav」をルートに保存します。

再生する

1. [SONG] ボタンを押します。

2. [F1] ボタンまたはダイヤルで、ガイド・トラッ クと一緒に再生する SD カードの曲を選びます。 例)の場合では、曲に SD カードの「TD-17.wav」を 選びます。

3. [▶/■] ボタンを押します。

曲の再生と同時に、ガイド・トラックも再生されます。 必要に応じて、ガイド・トラックの音量を調節します (P.8)。

XE

ガイド・トラックをミュートするときは、[F3] ボタンを 押してチェックをはずします。 13 English



简体中文

設定の保存

本機では、変更した値は自動的に保存されるため、 設定を保存する操作は必要ありません。 また、電源をオフにするときも設定が保存されます。

スネア・ドラム、キック・ドラムなど、それぞれのインスト を設定します。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF)をご覧ください。

設定するパッドを選ぶ

パッドを叩いて選ぶ

各パッドの設定をするときは、設定するパッドを叩いて選 びます。

パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。

XE

[PAD SELECT] ボタンを長押しして PAD SELECT イ ンジケーターを点滅させておくと、設定するパッドが切 り替わらないようにすることができます。フレーズを演 奏しながら調節するときに便利です。

[PAD SELECT] ボタンでパッドを選ぶ

[PAD SELECT] ボタンで使って、設定するパッドを選ぶ ことができます。

[PAD SELECT] ボタンを押すたびに、設定するパッド が切り替わります。また、選ばれているパッドの PAD SELECT インジケーターが点灯します。

叩く場所ごとにパラメーターを設定する ([F1] (H&R ON) ボタン)

[F1] (H&R ON) ボタンが表示されている画面で、[F1] (H&R ON) ボタンを押してチェックを入れると、ヘッド 部とリム部などのパラメーターをセットで選び、設定する ことができます。

チェックをはずすと、ヘッド側、リム側(ボウ/エッジ/ベル) を独立して選び、設定することができます。

※ 画面の右上の表示でどちらが選ばれているか確認 できます。このとき、[ENTER] ボタンを押しながら [PAD SELECT] ボタンを押すことで、ヘッド側、リ ム側(ボウ/エッジ/ベル)を直接切り替えることもで きます。

インストを選ぶ (ASSIGN)

各パッドで鳴らすインストを選びます。

1. [ASSIGN] ボタンを押します。



- ✓ H&R ON STRAINER SUB
 2. 設定するパッドを選びます。
- [^] [V] ボタンでインスト・グループまたはインストにカーソルを合わせ、ダイヤルで選びます。
- [DRUM KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

XE

- インストによっては、[F2] ボタンを押して詳細な設 定ができます。
- [F3] (SUB) ボタンを押すと、サブ・インスト (レイヤー) を選んだり、設定したりすることができます。
- [F1] (H&R ON) ボタンにチェックが入っていると、 ヘッド部とリム部などのインストをセットで選ぶこと ができます。選んだインストに応じて、推奨のイン ストがセットで選ばれます。
- 選べるインストや設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF)をご覧ください。

パッドごとの音量やパンを設定する (LEVEL)

パッドごとに、音量やパン(定位)などを調節します。

1. [LEVEL] ボタンを押します。

INST LEVEL 画面が表示されます。



2. 設定するパッドを選びます。

3. ダイヤルを回して、値を変更します。

ボタン	パラメーター	説明
[F2] (VOLUME) ボタン	VOLUME	各パッドの音量を調 節します。
[F3] (PAN) ボタン	PAN	各パッドの定位を調 節します。

[DRUM KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

キットをカスタマイズする

オーディオ・ファイルを取り込む/ 鳴らす(USER SAMPLE)

パソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カード から本機に取り込み、インストとして鳴らすことができます (ユーザー・サンプル機能)。ユーザー・サンプルは、他 のインストと同じように、音色を調節したり、エフェクトを かけたりできます。

本機に取り込めるオーディオ・ファイル		
WAV ファイル		
形式(拡張子)	WAV (.wav)	
サンプリング周波数 44.1kHz		
ビット数	16、24 ビット	
時間(1 ファイルあたり)	最大 180 秒 (モノ)、最大 148 秒 (ステレオ)、	

※ 14 文字以上のファイル名やフォルダー名は、正し く表示されません。また、2 バイト文字を使ったファ イルやフォルダーには対応していません。

ユーザー・サンプル・メニュー一覧

メニュー	説明
Import	オーディオ・ファイルを取り込む

オーディオ・ファイルをユーザー・サンプルとして、本機に取り込みます。

Play Type ユーザー・サンプルの発音方法を設定する

パッドを叩いたときに、ユーザー・サンプルを1回だけ鳴ら すか、繰り返し鳴らすかなど、発音方法を設定することがで きます。

Adjust Start/End	ユーザー・サンプルの発音範囲を設定す

- ユーザー・サンプルの発音範囲を設定することができます。
- Rename ユーザー・サンプルの名前を変更する

```
ユーザー・サンプルの名前を変更します。
```

- Delete ユーザー・サンプルを削除する
- ユーザー・サンプルを削除します。

Renumber ユーザー・サンプルの番号を前に詰める

ユーザー・サンプルの取り込みと削除を繰り返すと、番号が とびとびになります。

この機能を使うと、ユーザー・サンプルを前詰めに整理できます。キットに割り当てたユーザー・サンプルも、正しく鳴るように更新されます。

※ Renumber を実行すると、これまでに保存した バックアップ・データやキット・バックアップ・データ (ユーザー・サンプルを含まないもの)を読み込んだとき、 キットに割り当てられたユーザー・サンプルが正しく再現 されなくなります。

メニュー	説明
------	----

Optimize ユーザー・サンプル領域を最適化する

ユーザー・サンプルの取り込みと削除を繰り返すと、ユー ザー・サンプル領域が断片化し、取り込めるユーザー・サン プルが少なくなることがあります。

この機能を使うと、領域を最適化して、ユーザー・サンプル を取り込めるようにします。

ご注意!

- 実行前に必ずバックアップをしてください (P.21)。
- この処理は、1時間以上かかることがあります(ユーザー・ サンプルの数やサイズにより変動します)。
- 処理中は、絶対に電源を切らないでください。ユーザー・ サンプルが失われる恐れがあります。
- 最適化しても、効果がない場合があります。

Delete All すべてのユーザー・サンプルを削除する

ユーザー・メモリー内のすべてのユーザー・サンプルを削除 します。

ご注意!

キットで使われているユーザー・サンプルもすべて削除されます。ユーザー・サンプルを割り当てているパッドは、 音が鳴らなくなります。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF)をご覧ください。

ユーザー・サンプルを一覧表示する

取り込んだすべてのユーザー・サンプルを一覧表示し ます。

1. [USER SAMPLE] ボタンを押します。

USER SAMPLE 画面が表示されます。

USER :	SAMPLE	REMAIN	1: 952
U001 🎝	TD-17	Sample	1 0
U002 🎝	TD-17	Sample	2
4 E00U	TD-17	Sample	3
0004 🎝	TD-17	Sample	4
0005 J	TD-17	Sample	50
<u>C PREVIE</u>	W) MEN	IU TASS	IGN

XE

[F1] (PREVIEW)ボタンを押すと、選んでいるユーザー・ サンプルを再生することができます。再生中にもう一度 [F1] (PREVIEW) ボタンを押すと、停止します。

オーディオ・ファイルを取り込む

オーディオ・ファイルをユーザー・サンプルとして、本機に 取り込みます。

- 1. SD カードを本機に挿入します (P.3)。
- 2. [USER SAMPLE] ボタンを押します。
- 3. [F2] (MENU) ボタンを押します。

田本語

Português

<u>キットをカスタマイズする</u>

ダイヤルで「Import」を選び、[ENTER] ボ タンを押します。

SAMPLE IMPORT 画面が表示されます。



オーディオ・ファイルを選び、[F3] (SELECT) ボタンを押します。

IMPORT DEST 画面が表示されます。

IMPOR	r dest	REMAIN	957
<u>TD-17</u>	Samp10	e.wav	
U001🎝	TD-17	Sample	10
U002 🎝	TD-17	Sample	2
4 E00U	TD-17	Sample	311
0004 🎝	TD-17	Sample	40
	W)	EXEC	UTE

ボタン	機能
[∧] [∨] ボタン∕ダイヤル	カーソルの移動
[F2] (FOLDER UP) ボタン	フォルダーを抜ける
[F3] (SELECT) ボタン	フォルダーに入る/ファイ ルの決定



- [F1] (PREVIEW) ボタンを押すと、選んでいるオー ディオ・ファイルを再生することができます。
- 取り込むオーディオ・ファイルは、SD カードの IMPORT フォルダー (P.23) に保存しておくと便 利です。

6. ダイヤルでインポート先の番号を選び、[F3] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

※ すでにデータがある番号を選ぶと、「User Sample Exists!」とメッセージが表示されます。データのない 番号を選んでください。

7. [ENTER] ボタンを押します。

オーディオ・ファイルが取り込まれます。

ユーザー・サンプルをインストに割り 当てる/鳴らす

- 1. [USER SAMPLE] ボタンを押します。
- ダイヤルで割り当てたいユーザー・サンプル を選び、[F3] (ASSIGN) ボタンを押します。
 SAMPLE ASSIGN 画面が表示されます。

[0008	TD-17	7 Sam	Ple	11
MAIN	\$ S	elect	MAIN/	SUB
[003	Beech	ъК		1
SUB	Паар	Shel	1 12	1
VH&R	ON	- One i	EXEC	UTE

- 3. 設定するパッドを選びます (P.14)。
- ダイヤルで割り当て先のインスト(メインまた はサブ)を選び、[F3](EXECUTE)ボタン を押します。

確認画面が表示されます。 中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

5. [ENTER] ボタンを押します。

ユーザー・サンプルを割り当てたパッドを叩くと、ユー ザー・サンプルが鳴ります。

XE

- ユーザー・サンプルは、他のインストと同じように、 音色を調節したり、エフェクトをかけたりできます。
- INST ASSIGN 画面(P.14)でも、インストにユー ザー・サンプルを選ぶことができます。

ユーザー・サンプルの設定をする

ユーザー・サンプルの発音方法/発音範囲の設定や、削 除、整理などができます。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF)をご覧ください。

- 1. [USER SAMPLE] ボタンを押します。
- ダイヤルを回して、設定するユーザー・サン プルにカーソルを合わせます。
- 3. [F2] (MENU) ボタンを押します。

USER SAMPLE MENU 画面が表示されます。



ダイヤルでメニューを選び、[ENTER] ボタンを押します。

キットをカスタマイズする

5. 選んだメニューに応じて、設定します。

Import

「オーディオ・ファイルを取り込む」(P.15)をご覧く ださい。

Play Type、Adjust Start/End、Rename

 ファンクション・ボタン/[A] [V] ボタン/ダイヤルで、 設定値(または名前)を変更します。

Delete、Renumber、Optimize、Delete All

- **1. [ENTER] ボタンを押します**。 説明画面が表示されます。
- [F3] (EXECUTE) ボタンを押します。
 確認画面が表示されます。
 中止するときは [EXIT] ボタンを押します。
- 3. [ENTER] ボタンを押して、実行します。
- [DRUM KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻 ります。

チューニングやマフリングの設定 をする (TUNING / MUFFLING)

ヘッドのチューニングやマフリング(ミュート)の設定をします。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF)をご覧ください。

- [TUNING] ボタンまたは [MUFFLING] ボ タンを押します。
- 2. 設定するパッドを選びます (P.14)。
- ファンクション・ボタンまたはダイヤルで、設 定値を変更します。

その他の設定をする(OTHER)

パッドごとの音質(パッド・イコライザー)やキット全体の 設定(エフェクト、音量、名前など)をします。

OTHER メニュー一覧

メニュー 説明

AMBIENCE 残響音を調節する

ルーム・アンビエンス(部屋の種類や大きさ)を調節するこ とで、より自然で臨場感のあるドラム・サウンドが得られます。 アンビエンスはキットごとに効果をかけることができます。ま た、パッドごとに効果をどれくらいかけるかを設定することが できます。

MULTI FX キット全体のエフェクトを設定する

MULTI FX (マルチ・エフェクト) は、30 種類の中から1 つのエフェクトを選んでかけることができます。 マルチ・エフェクトはキットごとに効果をかけることができ ます。また、パッドごとに効果をどれくらいかけるかを設定 することができます。

PAD EQ パッド・イコライザーを設定する

パッドごとの音質を調節します。

VOLUME キット全体の音量を設定する

キット全体の音量を設定します。

NAME キットの名前を変更する

キットの名前を変更します (P.18)。

MIDI NOTE キットの MIDI 情報を設定する

パッドを叩いたときに送受信する MIDI 情報を設定します。

COPY キットをコピーする

キットの設定をコピーしたり、工場出荷時のキットの設定に戻したりできます(P.18)。

SAVE/LOAD キットをバックアップ/ロードする

キットの設定を SD カードに保存したり (バックアップ)、本機 に書き戻したり (ロード) することができます (P.19)。

参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF)をご覧ください。

1. [OTHER] ボタンを押します。

OTHER MENU 画面が表示されます。

OTHER MENU



[∧] [∨] ボタンとファンクション・ボタンで、
 メニューを選びます。

日本語

Português



简体中文

<u>キットをカスタマイズする</u>

3. 選んだメニューに応じて、設定します。

AMBIENCE, MULTI FX, VOLUME

 ファンクション・ボタン / [∧] [∨] ボタン / ダイヤルで、 設定値を変更します。

PAD EQ, MIDI NOTE

- 1. 設定するパッドを選びます (P.14)。
- ファンクション・ボタン/[A][V]ボタン/ダイヤルで、 設定値を変更します。

NAME

 ファンクション・ボタン/ [^] [V] ボタン/ダイヤルで、 名前を変更します。

キット・ネーム (上段) は 12 文字、サブ・ネーム (下段) は 16 文字まで入力できます。

操作子 説明 レ ア レ ア ダイヤル ジマを変更します。 レ ア レ ア レ ア ア ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ ア レ

COPY

「キットをコピーする」(P.18)をご覧ください。

SAVE/LOAD

「キットをバックアップ/ロードする」(P.19)をご覧 ください。

[DRUM KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

キットをコピーする

本機のキットの設定をコピーしたり、工場出荷時のキットの設 定に戻したりできます。

ご注意!

コピーを実行すると、コピーする先の内容は上書きされます。設定を残しておきたいときは、SDカードにバックアップしてください(P.19)。

- 1. [OTHER] ボタンを押します。
- ファンクション・ボタンまたは [^] [^] ボタンで、 「COPY」を選びます。

ファンクション・ボタン/ [^] [∨] ボタン/ ダイヤルで、コピーの設定をします。

[F1] (USER) ボタン

キットの設定をコピーします。



コピー先 ユーザー・サンプル・アイコン (ユーザー・サンプル (P.15)を使っているキッ トを選んでいるときのみ表示)

[F2] (PRESET) ボタン

工場出荷時のキットの設定をコピーします。



ユーザー・サンプル・アイコン (ユーザー・サンプル (P.15) を使っているキッ トを選んでいるときのみ表示)

4. [F3] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。 中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

5. [ENTER] ボタンを押して、実行します。

キットをカスタマイズする

キットをバックアップ/ロードする

本機に記憶されているキット単体の設定を、SD カードに 保存(バックアップ)したり、本機に書き戻したり(ロード) することができます(最大 999 個)。

- 1. [OTHER] ボタンを押します。
- ファンクション・ボタンまたは [^] [^] ボタンで、 「SAVE/LOAD」を選びます。
- ファンクション・ボタン/ [^] [V] ボタン/ ダイヤルで、バックアップ/ロードの設定をし ます。

[F1] (SAVE) ボタン

キットを SD カードにバックアップします。 バックアップ キットに割り当てられているユーザー・

するデータ サンプルをバックアップする/しない



ユーザー・サンプル・アイコン

(ユーザー・サンプル (P.15) を使っている キットを選んでいるときのみ表示)

[F2] (LOAD) ボタン

SD カードのキットをロードします。

ロードする キットと一緒に保存されているユーザー・ データ サンプルをロードする/しない



トを選んでいるときのみ表示)

※ ユーザー・サンプルが含まれていないバックアップ・ データをバックアップ/ロードする場合、「With User Sample」にチェックを入れることはできません。

4. [F3] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。 中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

5. [ENTER] ボタンを押して、実行します。

バックアップ/ロード時のご注意

- ※ ユーザー・サンプルもバックアップする場合、ユーザー・ サンプルのサイズによっては、保存に数分かかること があります。また、ユーザー・サンプルをバックアップ しない場合、バックアップ後に本体のユーザー・サン プルを削除したり、Renumberしたりすると、キット・バッ クアップ・データを読み込んでも、キットは正しく再現 されません。
- ※ ユーザー・サンプルをロードすると、すでに同じユー ザー・サンプルが存在していても、新しくユーザー・ サンプルが作成されます。また、ロードしたキットには、 新しく作成されたユーザー・サンプルが自動的に割り 当てられます。
- ※ ユーザー・サンプルをロードするには、ユーザー・サ ンプルの空き容量が必要です。

English

田本諸

設定の基本操作

本機全体の音質やパッドなどの設定をします。

SETUP メニュー一覧

メニュー 説明

Bluetooth Bluetooth の設定をする

Bluetooth の設定をします (P.5)。

SD カードにデータをバックアップする SD Card

本機全体の設定を SD カードに保存したり、本機に書き戻した り(ロード)することができます(P.21)。

Bass/Treble 低音/高音のかかりかたを調節する

[BASS] / [TREBLE] つまみで調節する、低音/高音のか かりかたを調節します。

Bass/Treble は、すべてのキットに効果がかかります。

Pad Settings パッドの設定をする

パッドの設定をします (P.21)。

Hi-Hat ハイハットの設定をする Settings

ハイハットの設定をします (P.4)。

MIDI MIDI の設定をする

本機全体の MIDI の設定をします。

LCD ディスプレイのコントラストを調節する

ディスプレイのコントラストを調節します。

USB の設定をする

USB の設定をします。

一定時間が経つと自動で電源が切れるよう AUTO OFF にする (AUTO OFF)

AUTO OFF の設定をします (P.23)。

System Info プログラムのバージョンを表示する

プログラムのバージョンを表示します。

Factory 工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の状態に戻します (P.24)。

参照

Reset

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。

1. [SETUP] ボタンを押します。

SETUP MENU 画面が表示されます。



2. ダイヤルでメニューを選び、[ENTER] ボタ ンを押します。

選んだメニューに応じて、設定します。

Bluetooth

[Bluetooth® 機能を使う 」(P.5) をご覧くだ さい。

SD Card

[SD カードにデータをバックアップする|(P.21)を ご覧ください。

Bass/Treble、Pad Settings、 Hi-Hat Settings、MIDI、LCD、USB

 ファンクション・ボタン / [∧] [∨] ボタン / ダイヤルで、 設定値を変更します。

AUTO OFF

「一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (AUTO OFF)」(P.23) をご覧ください。

System Info

プログラムのバージョンを表示します。

Factory Reset

「工場出荷時の設定に戻す」(P.24)をご覧ください。

4. [DRUM KIT] ボタンを押して、 KIT 画面に戻 ります。

パッドの設定をする

パッドからの信号を本機が確実に処理できるように、パッドの設定をします。

パッドの種類を設定する

1. [SETUP] ボタンを押します。

 ダイヤルで [Pad Settings] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

PAD SETTINGS 画面が表示されます。

PAD SETTINGS	HEADIKK 1
KICK	KD10 🛛
: SNARE	PDX12
TOM1	PDX8
TOM2	PDX8
TOM3	PDX8 []
TYPE BASIC	ADVNCD

- 3. [F1] (TYPE) ボタンを押します。
- 4. 設定するパッドを選びます (P.14)。
- 5. ダイヤルを回して、パッドの種類を選びます。

パッドの感度を調節する

パッドの感度を調節し、叩く強さと音の大きさのバランス を調節します。

- **1.** PAD SETTINGS 画面を表示させます。
- 2. [F2] (BASIC) ボタンを押します。
- 3. 設定するパッドを選びます(P.14)。
- [^] [^] ボタンを押して、「Sensitivity」を選びます。
- 5. ダイヤルを回して、感度を調節します。

参照

必要に応じて、パラメーターを細かく調整します。詳し くは『データ・リスト』(PDF)をご覧ください。

SD カードにデータをバックアップ する

本機に記憶されているすべての設定を、SD カードに保存 (バックアップ)したり、本機に書き戻したり(ロード)す ることができます。

XE

キットごとにバックアップ/ロードすることもできます (P.19)。

SD カードにバックアップする

本機に記憶されているすべての設定を保存します (最大 99 セット)。

- 1. SD カードを本機に挿入します (P.3)。
- 2. [SETUP] ボタンを押します。
- **3.** ダイヤルで「SD Card」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD MENU 画面が表示されます。

SD CARD MENU
Save Backup
Load Backup
Delete
SD Card Info
SD Card Format
ENTE

4. ダイヤルで[Save Backup]を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD SAVE BACKUP 画面が表示されます。



 [∧] [∨] ボタンとダイヤルで、バックアップの 設定をします。

パラメーター 説明

User Sample	インポート済みのユーザー・サンプルを 一緒にバックアップするか選びます。
Bank	バックアップ番号を選びます。

※ ユーザー・サンプルもバックアップする場合、ユー ザー・サンプルのサイズによっては、保存に数分かか ることがあります。また、ユーザー・サンプルをバック アップしない場合、ユーザー・サンプルを削除したり、 Renumber したりすると、バックアップを読み込んで も、キットは正しく再現されません。

6. [F3] (NEXT) ボタンを押します。

XE

バックアップ・データに名前を付けたいときは、[F1] (NAME) ボタンを押して、名前を付けます(P.18)。

7. [F3] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

Save All Data to SD Card
Are you sure?
Push [ENTER] to execute. Push [EXIT] to cancel.

中止するときは [EXIT] ボタンを押します。 8. [ENTER] ボタンを押して、実行します。 田本諸

English

Português



バックアップ・データを SD カードか らロードする

SD カードに保存したバックアップ・データを本機に読み込 みます (ロード)。

- 1. SD カードを本機に挿入します (P.3)。
- SD CARD MENU 画面を表示させます (P.21)。
- ダイヤルで[Load Backup]を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD CARD LOAD BACKUP 画面が表示されます。



 [∧] [∨] ボタンとダイヤルで、ロードの設定 をします。

パラメーター	説明
User Sample	ユーザー・サンプルを一緒にロード するか選びます。
Bank	バックアップ番号を選びます。

- ※ ユーザー・サンプルをロードすると、本体内のユーザー・ サンプルは、バックアップ・データに含まれるユーザー・ サンプルに上書きされます。また、ユーザー・サンプ ルのサイズによっては、ロードに 10 分以上かかること があります。
- **5. [F3] (EXECUTE) ボタンを押します**。 確認画面が表示されます。

中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

6. [ENTER] ボタンを押して、実行します。

バックアップ・データを SD カードか ら削除する

不要なバックアップ・データ(ユーザー・サンプルを含む) を SD カードから削除します。

- 1. SD カードを本機に挿入します (P.3)。
- SD CARD MENU 画面を表示させます (P.21)。
- ダイヤルで「Delete」を選び、[ENTER] ボ タンを押します。

SD CARD DELETE 画面が表示されます。



ダイヤルを回して、削除するバックアップ・デー タを選びます。

[F1] (BACKUP) ボタン

バックアップ・データを削除します。

[F2](1 KIT)ボタン

キット・バックアップ・データを削除します。

5. [F3] (EXECUTE) ボタンを押します。 確認画面が表示されます。

中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

6. [ENTER] ボタンを押して、実行します。

SD カードを初期化する

SD カードを初期化(フォーマット)します。

※ 初めて SD カードを使うときは、必ず本機で SD カード を初期化(フォーマット)してください。

ご注意!

SD カードを初期化すると、SD カード内のデータはす べて消去されます。

- **1.** SD カードを本機に挿入します (P.3)。
- SD CARD MENU 画面を表示させます (P.21)。
- ダイヤルで「SD Card Format」を選び、 [ENTER] ボタンを押します。
- 4. [F3] (EXECUTE) ボタンを押します。 確認画面が表示されます。 中止するときは [EXIT] ボタンを押します。
- 5. [ENTER] ボタンを押して、実行します。

SD カードの使用状況を確認する

SD カードに保存されている設定の数などを確認することができます。

- 1. SD カードを本機に挿入します (P.3)。
- SD CARD MENU 画面を表示させます (P.21)。
- ダイヤルで[SD Card Info]を選び、[ENTER] ボタンを押します。

パラメーター	説明
Backup All	保存されているバックアップ・デー タの数
1 Kit	保存されているキット・バックアップ・ データの数



Deutsch

Français

Italian

0			

Español

Português

Nederlands

简体中文



SD カードにオーディオ・ファイルを保 存するときは

SDカードのルート(一番上の階層)に保存したオーディ オ・ファイルを再生することができます (P.9)。

※ ファイル・サイズは、1 ファイルが 2GB 以内になるようにしてください。

本機で再生できるオーディオ・ファイル

	WAV ファイル	MP3 ファイル
形式(拡張子)	WAV (.wav)	MP3 (.mp3)
サンプリング周波 数	44.1kHz	44.1kHz
ビット数	16、24 ビット	64kbps ~ 320kbps

※ 14 文字以上のファイル名は、正しく表示されません。 また、2 バイト文字を使ったファイルには対応していま せん。

ー定時間が経つと自動で電源が切れるようにする(AUTO OFF)

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます(AUTO OFF 機能)。 自動的に電源が切れないようにするには、AUTO OFF 機能を解除してください。

※ 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してくだ さい。

1. [SETUP] ボタンを押します。

ダイヤルで「AUTO OFF」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

AUTO OFF 画面が表示されます。

AUTO OFF	
Auto Off	30 MINS

ダイヤルを回して、AUTO OFF 機能の設定 をします。

設定値	説明
OFF	電源は自動的に切れません。
10 MINS	設定した時間(10分/30分/4時間)
30 MINS	- 以内にパッドを叩かなかったり何も操 作をしなかったりすると 白動的に雪
4 HOURS	源が切れます。

[DRUM KIT] ボタンを押して、KIT 画面に戻ります。

XE

AUTO OFF 機能に設定していると、電源が切れる前 にカウントダウン・メッセージが表示されます。 カウントダウン・メッセージが表示され始めるタイミン グは、AUTO OFF の設定によって異なります。

工場出荷時の設定に戻す

本機に記憶されている設定値を、工場出荷時の状態に戻します。これをファクトリー・リセットと呼びます。

ご注意!

この操作をすると、本機にあるデータや設定がすべて 失われます。必要なデータや設定は、SDカードに保 存してください(P.21)。

1. [SETUP] ボタンを押します。

ダイヤルで「Factory Reset」を選び、 [ENTER] ボタンを押します。

FACTORY RESET 画面が表示されます。

FACTORY R	ESET
	Reset with User Sample
 Ì	
FACTORY RESET	
	EXECUTE

XE

すべてのユーザー・サンプルも工場出荷時に戻す場合 は、ダイヤルで、「Reset with User Sample」にチェッ クを入れます。本体内のすべてのユーザー・サンプル は、工場出荷時のデータに上書きされます。

3. [F3] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

Factory Reset Erase All Data. Are you sure? Push LENTER1 to execute. Push LEXIT1 to cancel.

中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

4. [ENTER] ボタンを押して、実行します。

トラブルシューティング

症状	確認事項	対策	ページ
ー・・ 音に関するトラブル			
	各パッドやペダルにケーブルが正しく接続され ていますか?	接続を確認してください。	P.3
	インストが「OFF」になっていませんか?	インストを割り当ててください。	P.14
	インストの「Volume」が下がっていませんか?	インストの「Volume」を調節してください。	P.14
特定のパッドの音が出 ない	ユーザー・サンプルが削除されていませんか?	パッドに割り当てられているユーザー・サンプ ルを削除すると、音が出なくなります。 もう一度ユーザー・サンプルを取り込むか、 他のインストを割り当ててください。	P.15
	パッドの種類は正しく設定されていますか?	パッドの種類を設定してください。	P.21
	各パッドやペダルにケーブルが正しく接続され ていますか?	接続を確認してください。	P.3
	本機と外部機器が正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.3
	本機の音量が下がっていませんか?		P.9
	接続しているアンプ内蔵スピーカーのボ リュームが下がっていませんか?	適正なレベルに調節してください。	-
	オーディオ・システムの入力切り替えは正しい ですか?	オーディオ・システムを確認してください。	_
きが出ない / きが小	MIX IN 端子に接続した機器のボリュームは下 がっていませんか?	適正なレベルに調節してください。	_
さい	本機の入力レベルが下がっていませんか?	適正なレベルに調節してください。	P.8
	「Local Control」が「OFF」になっていませんか?	通常は「ON」に設定します。	➡ PDF
	カーボン製や金属製のスティックを使っていま せんか?	木製や樹脂製のスティックをお使いください。 カーボン製や金属製のスティックを使うと、セ ンサーが誤動作することがあります。	_
	金属製のブラシを使っていませんか?	ナイロン製のブラシをお使いください。金属 製のブラシを使うと、センサーが誤動作した りパッドを傷つけたりすることがあります。	_
SD カードに関するトラ!	ブル		
SD カードを挿入して も認識されない/デー タが見えない	正しくフォーマットされていますか?	本機で SD カードをフォーマットしてください。	P.22
MP3 / WAV ファイ	MP3 ファイルのサンプリング周波数、ビット・ レート、WAV ファイルのサンプリング周波数、 量子化ビット数は本機に対応していますか?	本機に対応した MP3 / WAV ファイルをご 使用ください。	P.23
ルが再生できない	高いビット・レートの MP3 で再生速度を上げ ると、再生が間に合わない場合があります。	-	_
オーディオ・ファイル が鳴らない/取り込め ない	オーディオ・ファイルの形式は正しいですか?	オーディオ・ファイルの形式、ファイル名、拡 張子を確認してください。	P.23
	オーディオ・ファイルの置き場所は正しいで すか?	オーディオ・ファイルの置き場所を確認してく ださい。	P.23
	多数のオーディオ・ファイルをフォルダー内に 置いていませんか?	フォルダー内のオーディオ・ファイルは、200 個以下にしてください。	_

25

トラブルシューティング

症状	確認事項	対策	ページ			
USB に関するトラブル						
パソコンと接続できな い	USB ケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.3			
	USB AUDIO として音声を送受信するには、 USB ドライバーのインストールが必要です。	パソコンに USB ドライバーをインストールし てください。	P.10			
	USB 2.0 対応のケーブルを使用しています か?	USB 3.0 対応のケーブルは使用できません。 USB 2.0 対応のケーブルを使用してくだ さい。	-			
	Driver Mode は正しく設定されていますか?	使いかたに応じて変更してください。	➡ PDF			
MIDI に関するトラブル						
音が出ない	MIDI ケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.3			
	MIDI チャンネルは合っていますか?	本機と外部 MIDI 機器の MIDI チャンネルを 合わせてください。	➡ PDF			
	ノート・ナンバーは合っていますか?	パッドの「NOTE NO.」を設定してください。	➡ PDF			

.

TD-17-L を除く

Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	確認事項/対策		ページ
端末の Bluetooth デ バイスに、本機が現れ ない	Bluetooth 機能が「OFF」になってい ませんか?	Bluetooth 機能を「ON」にしてください。 SETUP → [Bluetooth] → [ON] Bluetooth オーディオ機能: ペアリングを開始すると、「TD-17 AUDIO」とい うデバイスが現れます。 Bluetooth MIDI 機能: 「TD-17 MIDI」というデバイスが現れます。 GarageBand などのアプリ内の設定から確認でき ます。	P.5
Bluetooth オーディオ に接続できない	モバイル機器側の Bluetooth 設定に 本機がデバイスとして見えている場合	デバイスの登録を一度削除してから Bluetooth 機 能を「OFF」 → 「ON」にして、ペアリングし直し てしてください。	P.5
	本機がデバイスとして見えていない場合	モバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンし てから、本機からペアリングを開始し、ペアリングし 直してください。	P.5
Bluetooth MIDI に接 続できない	モバイル機器に登録されている「TD-17 MIDI」を削除してからモバイル機器の Bluetooth 機能をオフ → オンにして、接続し直してください。		
MIDI で接続できない	モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、GarageBand などのアプリ内の設定から接続してください。		
MIDI 機能でペアリン グできない	MIDI 機能は、モバイル機器側でデバイスを選んで最初の接続時にペアリングします。本機からペアリング開始の操作をする必要はありません。		-
ペアリングしたモバイ ル機器がつながらない	接続してもすぐに切れてしまうときは、モバイル機器の Bluetooth スイッチを一度オフにし再度オンにすると、接続される場合があります。		

XE

内容を確認しても解決しないときは、ローランドのサポート・ページをご覧ください。 https://www.roland.com/jp/support/

26



警告

AUTO OFF 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから 一定時間経過すると自動的に電源 が切れます (AUTO OFF 機能)。 自動的に電源が切れないようにす

るには、AUTO OFF 機能を解除してください (P.23)。 .23/0

指定のスタンドを使用する

本機の設置には、ローランドが推 奨するスタンド (MDS シリーズ) を使用してください。

不安定な場所に設置しない

本機の設置にスタンド(型番: MDS シリーズ)を使用する場合、 ぐらつくような場所や傾いた場所 に設置せず、安定した水平な場所



.

に設置してください。機器を単独で設置する 場合も、同様に安定した水平な場所に設置し てください。

スタンドへ設置するときの注意

取扱説明書の指示どおりに設置し てください (セットアップ・ガイド 参照)。



正しく設置しないと、不安定な状 態となって落下や転倒を引き起こし、けがを する恐れがあります。

使用上のご注意

修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内 容をバックアップするか、メモしておいて ください。修理するときには記憶内容の 保存に細心の注意を払っておりますが、メ モリー部の故障などで記憶内容が復元で きない場合もあります。失われた記憶内 容の修復に関しましては、補償も含めご容 赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品(製品) の機能を維持するために必要な部品)を、 製造打切後6年間保有しています。この 部品保有期間を修理可能の期間とさせて いただきます。なお、保有期間を過ぎた あとでも、故障箇所によっては修理可能の 場合がありますので、お買い上げ店、ま たはローランドお客様相談センターにご相 談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操 作などによって失われることがあります。 失っても困らないように、大切な記憶内容 はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、 補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりし ないでください。
- ・抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでく ださい。

- 本機のトレー部とトレー・ホルダーは、モ バイル機器などの安定保持を保障するも のではありません。本機の取り付け角度 などを調整し、十分に安定性を確認してか らお使いください。落下等で破損や不具 合が生じても、当社は一切責任を負いま せん。
- ・設置状態によっては、本機の足でテーブ ルなどの表面を傷つけることがあります。 本機の下に布などを敷くと、安心してお使 いいただけます。この場合、本機が滑っ て動かないことを確認してからお使いくだ さい。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意し てください。また、外部メモリーに付属の 注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはず さない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う 前に身体に帯電している静電気を放電 しておく。
- メモリー・カードのメーカーや種類によって は、本機で正しく録音や再生ができないこ とがあります。
- メモリー・カードは消耗品です。メモリー・ カードは恒久的な保存場所ではなく、一時 的な保存場所としてお考えいただき、大切 なデータは、別のメディアにバックアップさ れることをおすすめします。

移動するときの注意

スタンドを移動するときは以下の ことを確認したあと、必ず2人以 上で水平に持ち上げて運んでくだ さい。このとき、手をはさんだり、 足の上に落としたりしないように注意してくだ さい。

- ・ 機器本体とスタンドを固定しているハンド・ ノブやボルトがゆるんでいないか、確認 する。ゆるんでいる場合は、しっかり固定 する。
- 電源コードをはずす。
- 外部機器との接続をはずす。

小さな部品はお子様の手の届かないと ころに置く

下記の部品はお子様が誤って飲 み込んだりすることのないよう手 の届かないところへ保管してくだ

・取りはずしが可能な部品

ケーブル・キャップ

電波に関する注意

があります。

をはがす

以下の事項を行うと法律で罰せられること

本製品の裏面に貼ってある証明ラベル

本機の使用周波数帯では、電子レンジ等

の産業・科学・医療用機器のほか、工場

の製造ライン等で使用されている移動体

識別用の構内無線局(免許を要する無線

局)や特定小電力無線局(免許を要しな

い無線局)、アマチュア無線局(免許を要

本機を使用する前に、近くで移動体識

別用の構内無線局や特定小電力無線

局、アマチュア無線局が運用されてい

移動体識別用の構内無線局や特定小電

力無線局、アマチュア無線局に対して、

万一、本機が原因と思われる有害な電

波干渉の事例が発生した場合には、電

波の発射を停止した上で、混信回避の ための処置等(たとえば、パーティショ

ンの設置など)についてローランドお客

様相談センターにご相談ください。

ターにご相談ください。

 その他、発生した問題についてお困り の場合も、ローランドお客様相談セン

する無線局)が運用されています。

ないことを確認してください。

本製品を分解/改造する

Deutsch

English

盟本

Françai 5

Italiano

Nederlands







警告

付属の AC アダプターを AC100V で

/ľ`

AC アダプターは、必ず付属のも

のを、AC100Vの電源で使用し

.....

付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを

使用してください。また、付属の

電源コードを他の製品に使用しな

使用する

てください。

いでください。

さい。 引き起こし、けがをする恐れがあります。

-

スタンドを使う前に安全を確認する

取扱説明書に記載の注意事項が 守られていても、取り扱いによっ てはスタンドから本機が落下した りスタンドが転倒したりする可能 性があります。使用にあたっては事前に安全 を確認した上でお使いください。

- ※ ローランドお客様相談センターへの 連絡につきましては、取扱説明書な どに記載の「お問い合わせの窓口」 をご覧ください。
- 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

知的財産権について

- ・第三者の著作物(音楽作品、映像作品、 放送、実演、その他)の一部または全部 を、権利者に無断で録音、録画、複製あ るいは改変し、配布、販売、貸与、上演、 放送などを行うことは法律で禁じられてい ます。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用 途に、本製品を使用しないでください。お 客様が本製品を用いて他者の著作権を侵 害しても、当社は一切責任を負いません。

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ(音色 波形データ、スタイル・データ、伴奏パター ン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、 画像データなど)の著作権は当社が保有し ています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ(ただ しデモ曲などの楽曲データは除く)を素材 として、お客様が新たな作品を制作、演奏、 録音、配布をすることに関しては、当社の 許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- SD ロゴ (*S*>) および SDHC ロゴ (ご) は SD-3C、LLC の商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbHの商標およびソフ トウェアです。

- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェ アプラットフォーム [eParts™] が搭載さ れています。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴ は、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録 商標であり、ローランドはこれらのマーク をライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム(www. tron.org)のT-License 2.0 に基づきμ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- Roland、V-Drums、Noise Eater は、 日本国およびその他の国におけるローラン ド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、 各社の登録商標または商標です。

主な仕様

ローランド TD-17、TD-17-L:ドラム・サウンド・モジュール

ドラム・キット数	100 (プリセット:50)	
音色数	310	
ユーザー・ サンプル	内蔵メモリー・サイズ:32M バイト ユーザー・サンプル数:最大 100 (工場出荷時のユー ザー・サンプルを含む) 音の長さ(合計):モノ 295 秒、ステレオ 148 秒 ファイル形式:WAV (44.1kHz、16/24 ビット)	
キット・エフェクト	アンビエンス:25 タイプ マルチ・エフェクト:30 タイプ パッド・イコライザー:パッドごと	
マスター・ エフェクト	ベース (EQ)、トレブル (EQ)	
Bluetooth (*1)	対応規格: Bluetooth 標準規格 Ver 4.2 対応プロファイル: A2DP (オーディオ)、GATT (MIDI over Bluetooth Low Energy) 対応コーデック: SBC (SCMS-T 方式によるコンテ ンツ保護に対応)	
ソング・ プレーヤー	ファイル形式:WAV(44.1kHz、16/24ビット)、 MP3(*2)	
レコーダー	レコーディング方法:リアルタイム 最大録音時間:60分(一時録音:3分)(*3) ファイル形式:WAV(44.1kHz、16 ビット)	
ディスプレイ	128×64 ドット (バックライト付)	
電源	AC アダプター (DC9V)	
消費電流	490mA	
外形寸法	223 (幅) × 196 (奥行) × 65 (高さ) mm	
質量	0.9kg (AC アダプターを除く)	

付属品	音源マウント トレー・ホルダー AC アダプター 専用接続ケーブル 取扱説明書(保証書含む) 「安全上のご注意」チラシ ユーザー登録カード
別売品	パッド: PD シリーズ、PDX シリーズ、BT シリーズ シンバル: CY シリーズ キック: KD シリーズ キック・ペダル: KT シリーズ ハイハット: VH-11、VH-10 ハイハット・コントロール・ペダル: FD シリーズ ドラム・スタンド: MDS シリーズ シンバル・マウント: MDY シリーズ パッド・マウント: MDH シリーズ パッド・マウント: MDH シリーズ アコースティック・ドラム・トリガー: RT シリーズ パーソナル・ドラム・モニター: PM シリーズ V ドラム・アクセサリー・パッケージ: DAP-3X V ドラム・マット: TDM シリーズ ノイズ・イーター: NE シリーズ SD カード

*1 : Bluetooth 機能は、TD-17-L には非搭載です。

- *2:オーディオ・ファイルは SD カードに保存されている必要が あります。
- *3:録音には SD カードが必要です。SD カードがない場合、約3分間の一時録音が可能です。
- ※本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川 2036-1